

# 歌を使った日本語文法教育(6) —「そうだの歌」について—

溝口 博幸 \*

## Japanese Grammar Education Using Music (6) “The Song of SOUDA”

Hiroyuki MIZOKUCHI

**Abstract:** Japanese expression “souda” is used for telling information according to others or describing states which the speaker inferred. The song “SOUDA no uta” was created in July 2012, to allow learners of Japanese to study effectively in an enjoyable atmosphere. This material for studying Japanese language is effective in relation to affective and memory strategies (Oxford,1990). This paper mainly comments on the grammatical constitution of the lyrics in order to understand how to use this teaching material. Verse 1 shows the expression of “souda” in verb Group I, verse 2 gives examples of i-adjective, and verse 3 gives examples of potential verbs. These items ①hearsay (affirmative), ②inferred state (affirmative), ③hearsay (negative) and ④inferred state (negative) are arranged systematically in the lyrics of each verse.

*Keywords:* Japanese expression “SOUDA”, expression of hearsay, expression of the state

### 1. はじめに

日本語の「～そうだ」という表現は、他から知った情報をそのまま伝えるときや状態を発話者の判断において説明するときに使われる。例えば、『教師と学習者のための日本語文型辞典』(1998)には、「担当者の話によると新製品の開発に成功したそうだ」「予報では台風は今夜半に紀伊半島に上陸するそうだ。」という伝聞を表わす例がある。また、「その映画はおもしろそうだ。」や「彼女はいつもさびしそうだ。」という例のように、見たり聞いたりしたことから話し手が判断したことを表わす様態表現の「～そうだ」もある。鈴木(1972)の『日本語文法・形態論』には、伝聞の例として「この小説はあまりおもしろくないそうだ。」を、また様態の例として「雨がふりそうだ。」「たなから本がおちそうだ。」を提示している。

同じ「そうだ」を使う表現であるから、特に初級の日本語学習者にとっては、語形と機能に関して十分な注意が必要である。

そこで、この伝聞を表す「～そうだ」と様態を表す「～そうだ」の表現を歌を通して効率よく楽しく学べるように、

2012年7月、日本語教育のための音楽教材として「そうだの歌」を制作(作詞・作曲)した。この教材は、歌詞シート、クイズシート、パワーポイント(歌詞とクイズ)、CD(歌・カラオケ)を含んでいるものである。

筆者が行なっている日本語教育のための音楽教材の開発研究で作成したオリジナルの歌は、今回で10曲目である。今までに作成した教材①て形の歌、②形容詞の歌、③受け身形の歌、④可能形と誘いの歌、⑤使役形の歌、⑥条件の歌、⑦意志形の歌、⑧命令形の歌、⑨やりもらいの歌などは、国内外の大学等(立命館アジア太平洋大学、釜山情報大学、The University of New South Wales)において、授業や学内Web等の形で使用していただいている。

この「日本語教育のための音楽教材」は、Oxford(1990)のいう情意ストラテジーや記憶ストラテジーに関して効果があるものと考えられる。つまり、音楽やシステムチックな歌詞を使用することで、学習時の緊張緩和などの情意面や記憶を促進させる手助けになると考えている。

本稿の目的は、日本語表現の一つである「そうだ」を使った言い方(伝聞・様態の表現)について緊張をほぐしながら学習してもらおうと作成した日本語教育のための音楽教材「そうだの歌(The Song of SOUDA)」の歌詞の主に文法的な構成の解説を行なうものである。

\* 近畿大学工業高等専門学校  
総合システム工学科(共通教育)

## 2. 「そうだの歌」について

### 2. 1 概要

前述のように表現「～そうだ」は、他から知った内容(情報)をそのまま伝える場合(伝聞)と、自分の判断や様子を述べる場合(様態)に用いられるが、使われる語形が異なっているため、機能の使い分けがはっきりと表現できる。

他から情報を得た内容を伝える場合は、動詞や形容詞では、「辞書形」「ない形」「た形」「～なかった」等の基本形などの文の言い切りの形に「そうだ」を繋げ、様態説明の場合に動詞なら「ます形」に、イ形容詞なら「語幹」に「そうだ」を繋げることで、それぞれの機能を表わすことができる。学習者には、語形の違いで機能が異なるということをしつかりと習得させる必要がある。

「そうだの歌」には、「～そうだ」の表現を伝聞と様態の両方に使える、通常の動詞(グループ I)・可能動詞(グループ II)・イ形容詞を歌詞の中に織り込んでいる。動詞の「た形」「～なかった」の語形、ナ形容詞や「～そうだ」の表現を伝聞(例: 学生だそうだ。)にししか使えない名詞は、「そうだの歌」には入れなかったため、教授の際に説明をしていただきたい。

この「日本語教育のための音楽教材」は、歌詞シート、クイズシート、パワーポイント(歌詞とクイズ)、CD(歌・カラオケ)がセットとして作られているが、本稿では、教材の実際の内容を理解していただくため、またそのまま使えるよう APPENDIX のページに、「そうだの歌」の歌詞シート、クイズシート、楽譜を提示する。

APPENDIX-1 → 歌詞シート(ローマ字付き)

APPENDIX-2 → 歌のクイズシート

APPENDIX-3 → 楽譜

漢字やひらがなでは表記できない動詞等の語幹(グループ I つまり五段の動詞の語幹の最後が子音)をローマ字では表わせるので、歌詞にはローマ字表記を付している。またローマ字の種類については、日本語の音韻が理解しやすいようにとの意図で、訓令式を基準とし採用している。ただし長音については、いったんひらがな書きにしたものをローマ字に直してある(例: ケーキ→けえき→keeki、てんきよほう→tenkiyohou、そうだ→souda)。ただし、助詞「を」を「o」、助詞「は」を「wa」と表記した。

### 2. 2 「そうだの歌」の歌詞について

ここで、「そうだの歌」の歌詞の主に文法的な構成について、説明を行なっていく。

歌詞 1 番はグループ I の動詞の、2 番はイ形容詞の、3 番は可能動詞(グループ II)の伝聞と様態の例である。それぞれの番に、①伝聞(肯定)・②様態(肯定)・③伝聞(否定)・④様態(否定)の表現の語形をシステムティックに

配列してある。また、伝聞には「(出所)によると～そうだ。」という文のパターンに、また様態を表す文には「(理由)ので、～そうだ」というパターンにし、歌いやすく覚えやすいようにしてある。

「そうだ」の前に来る動詞や形容詞のローマ字表記にハイフン「-」を使っている(ないものもある)が、これを使用することでハイフンの前が語幹であり、そのあとの変化で異なった表現ができることを示すのに都合がよく、学習者にとってわかりやすいと考える。また、ハイフンがない場合も語幹だけを使うのだということをはっきりと示している。

#### ■歌詞 1 番

歌詞 1 番の内容は、天気に関することをすべて動詞「降る」の表現例で提示している。

4 つの文のうち、初めの 2 つはともに動詞の肯定の形であり、①が天気予報から知った内容(雨が降ること)を示した例で、②が話者の判断(雨が降ること)を述べている。歌詞 1 番の①と②の違いを動詞の部分だけを見ると①は語幹 hur に u (辞書形)、そこに souda がつながる語形で、②は語幹 hur に i (ます形)、そこに souda がつながっている。

後の 2 つの文は、ともに動詞の否定の形であり、③が天気予報から知った内容(雪が降らないこと)を述べた例で、④が話者の判断(雪が降らないこと)を述べている構成となっている。③は語幹 hur に anai (ない形)、そこに souda が付き、④は語幹 hur に anasa、次いで souda がついた語形(結果的には動詞のない形から「い」を取り、それに「さそうだ」を付けた語形)である。

#### <♪1> 【動詞】(グループ I) 「降る」

① [伝聞] <辞書形・現在・肯定>+そうだ

てんきよほうによると、「あしたはあめがふる」そうだ。  
(Tenkiyohou niyoruto, "Asitawa amega hur-u" souda.)

② [様態] <ます形>+そうだ

くもがたくさんあるので、いまにもあめがふりそうだ。  
(Kumoga takusan arunode, imanimo amega hur-i souda.)

③ [伝聞] <ない形(現在・否定)>+そうだ

てんきよほうによると、「ゆきはふらない」そうだ。  
(Tenkiyohou niyoruto, "Yukiwa hur-anai" souda.)

④ [様態] <ない形-「い」+「さ」>+そうだ

ひがさしてきたので、ゆきはふらなさそうだ。  
(Higa sasitekitanode, imanimo amega hur-anasa souda.)

## ■歌詞 2 番

歌詞 2 は、形容詞の例を「おいしい」を使って表現している。2 番も同じく前半の①②が肯定の形で、後半の③④が否定の形である。①は他から知ったこと（ケーキがおいしいこと）を形容詞の語幹 *oisi* に *i* (辞書形)、次いで *souda* をつなげ、②は自分の判断（おいしいこと）を語幹 *oisi* に *souda* をつけた語形で表現している。

③は他から知った情報（おいしくないこと）を語幹 *oisi* に *kunai* (ない形) に *souda* を繋げ、④は語幹 *oisi* に *kunasa*、次いで *souda* をつけた語形である。

### <♪2> 【イ形容詞】「おいしい」

#### ①[伝聞] <現在・肯定>

ここはうわさによると、「ケーキがおいしい」そうだ。  
(Kokowa uwasa *niyoruto*, “Keekiga *oisi-i*” *souda*.)

#### ②[様態] <ます形>

あまいかおりがするので、ケーキがとてもおいしそうだ。  
(Amai kaoriga suru *node*, keekiga totemo *oisi souda*.)

#### ③[伝聞] <ない形 (現在・否定)>

ここはうわさによると、「ケーキがおいしくない」そうだ。  
(Kokowa uwasa *niyoruto*, “Keekiga *oisi-kunai*” *souda*.)

#### ④[様態] <ない形—「い」+「さ」>

ひがたっているので、ケーキはおいしくなさそうだ。  
(Higa tatteiru *node*, keekiwa *oisi-kuna sa souda*.)

## ■歌詞 3 番

歌詞 3 番も動詞であるが、可能動詞「食べられる」の例である。可能動詞はすべてグループ II (一段動詞) であるから、その旨の説明をしていただきたい。可能動詞としての「食べられる」の語幹は「*taberare*」である。1 番・2 番と同じく、前半の①②が肯定、③④が否定の語形である。

①は他から知った情報（食べられること）を語幹 *taberare* + *ru* (辞書形) に *souda* をつけて、②は自分の判断（食べられること）を語幹 *taberare* に *souda* をつけて表している。③は他から知った情報（食べられないこと）を語幹 *taberare* + *nai* (ない形) に *souda* をつけて、④は自分の判断（食べられないこと）を語幹 *taberare* に *nasa*、次いで *souda* をつけて表現しているものである。

### <♪3> 【可能動詞】

#### ①[伝聞] <辞書形・現在・肯定>

キノコずかんによると、「これはたべられる」そうだ。  
(Kinokozukan *niyoruto*, “Korewa *taberare-ru*” *souda*.)

#### ②[様態] <ます形>

おなかがすいているので、たくさんたべられそうだ。  
(Onakaga suiteiru *node*, takusan *taberare souda*.)

#### ③[伝聞] <ない形 (現在・否定)>

キノコずかんによると、「それはたべられない」そうだ。  
(Kinokozukan *niyoruto*, “Sorewa *taberare-nai*” *souda*.)

#### ④[様態] <ない形—「い」+「さ」>

おなかがすいてないので、ほかのもたべられなさそうだ。  
(Onakaga suiteinai *node*, hokanomo *taberare-nasa souda*.)

## 3. おわりに

インターネット上に日本語を学ぶ子どもたちのために歌を使って語彙学習（天気・時間・家族など）をさせるよう作られた教材（BELL2001）があるが、音楽を使った言語教育はそれ以外の年代にも有効だと考えている。それは、渡邊志・高上僚一（2008）の実験の結果から、また福井一（2005）や茂木健一郎（2008）が音楽が人間の心理的なものに影響があることについて述べていることから理解できる。音楽を言語学習・習得に使うことで、緊張緩和などの心理的な効果が生まれることが考えられる。

言語教育に音楽を使うことは、STEVICK(1982)のいう記憶保持を助ける要素としての「最近度・頻度・強度」に非常に関連があるものと考えられる。

本稿では、2012年7月に作成した日本語教育のための音楽教材「そうだの歌」の主に文法的な内容について解説した。「そうだの歌」の歌詞シート、クイズシート、パワーポイントには学習内容に沿った絵を挿入しており、その絵を見ながら歌うことでイメージがわきやすく、さらに記憶の強化に役立つと考えている。楽しみながら学習できる教材としてこの「そうだの歌」を活用していただきたいと願っている。

## 参考文献

- 1) 鈴木重幸 (1972)、『日本語文法 形態論』pp454-456・p485-486、むぎ書房
- 2) 砂川有里子、駒田聡、下田美津子、鈴木睦、筒井佐代、蓮沼昭子、ベケシュ。アンドレイ、宮本順子(1998)、『教師と学習者のための日本語文型辞典』pp165-168、くろしお出版
- 3) 溝口博幸(2007, 2008, 2009, 2010, 2011)「歌を使った日本語文法教育」、『近畿大学工業高等専門学校紀要』(第1号 pp97-101 (使役形の歌)、第2号 pp87-92 (条件の歌)、第3号 pp99-105 (意志形の歌)、第4号

pp101-107 (命令形の歌)、第5号 pp99-108 (やりも  
らいの歌)、近畿大学工業高等専門学校

\_\_\_\_\_ (2008)、「楽しく学べる文法学習のための音  
楽教材」日本語教育学世界大会 2008 (韓国) <第7  
回日本語教育国際研究大会> 予稿集1、pp235-238

\_\_\_\_\_ (2009)、「楽しく学べる文法学習のための音  
楽教材(2)」,JSAA-ICJLE2009 国際研究大会(オースト  
ラリア)、要旨 p203

\_\_\_\_\_ (2011)、「歌を使った日本語教育の方法」、  
『跨文化交際中的日語教育研究2 (異文化コミュニケ  
ーションのための日本語教育)』(第10回世界日本語  
教育研究大会: ICJLE 2011 China) pp293-294、高等  
教育出版社(中国)

- 4) 渡邊志・高上僚一(2008)、「音楽教育を受けた被験者に  
同一吹奏楽曲を反復聴取させた場合の心拍変動」、『バ  
イオメディカル・ファジィ・システム学会誌』pp11-25
- 5) BELL, Carolyn (2001)、“*Songs that Teach Japanese*”、  
The Japanese Language Teachers Network (JLTN)  
Quarterly Vol. 16 No.5, December 2001、The Associations  
of Teachers of Japanese、<http://www.JapaneseTeaching.org/projects/JLTNQ/songs/> (最新アクセス 2012. 10. 07)
- 6) OXFORD, Rebecca (2001) “*Language Learning Strategies  
What Every Teacher Should Know* ” 『言語学習ストラテ  
ジー (外国語教師が知っておかなければならないこ  
と)』 宍戸通庸・伴紀子 訳、Newbury House (A Division  
of Wadsworth, Inc.)・凡人社
- 7) STEVICK, Earl W. (1982) “*Teaching and Learning  
languages*” 『外国語の教え方』、サイマル出版

### 謝辞

今回の日本語教育のための音楽教材「そうだの歌」の作  
成にも、ミュージシャンであり関西外国語大学講師の  
Darby STANDS 氏に曲のアレンジ等を手伝っていただき  
お世話になった。また、この研究(教材開発・作成)に対  
して近畿大学工業高等専門学校より別枠研究費として助  
成していただいている。両者に感謝を申し上げる。

うた  
そうだの歌

The Song of SOUDA

①動詞 [グループ I] Verb Group I



- てんきよほう によると、 「あしたは あめが ふる」 そうだ。  
Tenkiyohou niyoruto, "Asita wa ame ga hur-u" souda.



- くもが たくさん あるので、 いまにも あめが ふり そうだ。  
Kumo ga takusan arunode, imanimo amega hur-i souda.



- てんきよほう によると、 「ゆきは ふらない」 そうだ。  
Tenkiyohou niyoruto, "Yuki wa hur-anai" souda.

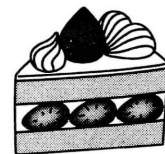


- ひが さしてきたので、 ゆきは ふらなさ そうだ。  
Hi ga sasitekitanode, yuki wa hur-anasa souda.

②イ形容詞 i-Adjective

- ここは、 うわさ によると 「ケーキが おいしい」 そうだ。  
Koko wa, uwasa niyoruto, "Keeki ga o i s i - i" souda.

- あまい かおりが するので、 ケーキが とても おいし そうだ。  
Amai kaoriga suruode, keeki ga totemo o i s i souda.



- ここは、 うわさ によると、 「ぜんぜん おいしくない」 そうだ。  
Koko wa, uwasa niyoruto, "Zenzen oisi-kunai" souda.

- ひが たっているので、 あんまり おいくなさ そうだ。  
Hi ga tatteirunode, anmari oisi-kunasa souda.



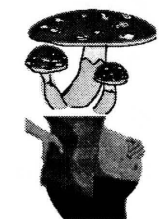
③動詞 [可能形] Verb [potential]



- キノコずかん によると 「これは たべられる」 そうだ。  
Kinokozukan niyoruto, "Kore wa taberare-ru" souda.



- おなかが すいているので たくさん たべられ そうだ。  
Onaka ga suiteirunode, takusan taberare souda.



- キノコずかん によると 「それは たべられない」 そうだ。  
Kinokozukan niyoruto, "Sore wa taberare-nai" souda.

- おなかが すいてないので、 ほかのも たべられなさ そうだ。  
Onaka ga suiteinainode, hokanomo taberare-nasa souda.

うた  
そうだの歌  
*The Song of SOUDA*

①動詞 [グループI] Verb Group I



■ てんきよほう によると、「あしたは あめが ふ( )」そうだ。  
Tenkiyohou niyoruto, "Asita wa amega hur( )" souda.



■ くもが たくさん あるので、いまにも あめが ふ( )そうだ。  
Kumo ga takusan arunode, imanimo amega hur( ) souda.



■ てんきよほう によると、「ゆきは ふ( )」そうだ。  
Tenkiyohou niyoruto, "Yuki wa hur( )" souda.



■ ひが さしてきたので、ゆきは ふ( )そうだ。  
Hi ga sasitekitanode, yuki wa hur( ) souda.

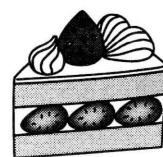
②イ形容詞 i-Adjective

■ ここは、うわさ によると 「ケーキが おいし( )」そうだ。  
Koko wa, uwasa ni yoruto, "Keeki ga oisi( )" souda.

■ あまい かおりが するので、ケーキが とても おいし(x) そうだ。  
Amai kaoriga suruode, keeki ga totemo oisi(x) souda.

■ ここは、うわさ によると、「ぜんぜん おいし( )」そうだ。  
Koko wa, uwasa niyoruto, "Zenzen oisi( )" souda.

■ ひが たっているので、あんまり おいし( ) そうだ。  
Hi ga tatteirunode, anmari oisi( ) souda.



③動詞 [可能形] Verb [potential]



■ キノコずかん によると 「これは たべられ( )」そうだ。  
Kinokozukan niyoruto, "Kore wa taberare( )" souda.



■ おなかが すいているので たくさん たべられ(x) そうだ。  
Onaka ga suiteirunode, takusan taberare(x) souda.



■ キノコずかん によると 「それは たべられ( )」そうだ。  
Kinokozukan niyoruto, "Sore wa taberare( )" souda.



■ おなかが すいてないので、ほかのも たべられ( ) そうだ。  
Onaka ga suiteinainode, hokanomo taberare( ) souda.

うた  
そだの歌  
*The Song of SOUDA*

作詞・作曲：Mizo.

$\text{♩} = 135$

1 C 2 F 3 G 4

5 C 6 F 7 G 8 C *Fine*

9 C 10 11 G 12

13 C 14 15 G 16 C

17 C 18 19 G 20

21 C 22 23 G 24 C *DC.1-3*

てんきよほうに よると あしたはあめが ふるそうだ  
 ここはうわさに よると ケーキがおーいしそうだ  
 キノコずかんに よると これはたべられそうだ

くもがたくさんあるので いまにもあめが ふりそうだ  
 あまいかおりがするので ケーキがとてもおいしそうだ  
 おなかがすいて いるので たくさんたべられそうだ

てんきよほうに よると ゆきはふーら ないそうだ  
 ここはうわさに よると ぜんぜんおいしく ないそうだ  
 キノコずかんに よると それはたべられ ないそうだ

ひーがさーしてきたので ゆきはふーら なさそうだ  
 ひーがたーっているので あんまりおいしく なさそうだ  
 おなかがすいて ないので ほかもたべられ なさそうだ

©MIZOKUCHI 2012 (作詞・作曲・歌: Mizo. アレンジ: Darby Stands)